

**第 155 回 全経簿記検定試験 予想結果と講評**  
**商業簿記・会計学**

科 目		第 1 予 想	第 2 予 想	第 3 予 想
商業簿記		連結会計(精算表)	決算三勘定 <b>的中!</b>	財務諸表
会 計 学	第 1 問	正誤問題 (過去問題も必ず確認を!) <b>的中!</b>		
	第 2 問 以降	有形固定資産 棚卸資産 リース会計	純資産会計 企業結合 企業会計原則 <b>的中!</b>	C/S <b>的中!</b> 会社再編 負債会計

**講評**

〔商業簿記〕

第1問は、新株予約権と純損失の振替えに関する仕訳問題が出題されました。全経サイドの出題の趣旨に記載されているとおり、「得点を取るための問題」と言っても過言ではないでしょう。問1の新株予約権に関する問題は、テキストの例題レベルの問題ですので、忘れてしまった方は必ず確認しておきましょう。

第2問は、特殊仕訳帳への記帳問題と損益勘定及び残高勘定を作成させる問題が出題されました。問1の特殊仕訳帳記帳問題については、簿記の基本ではありますが、案外おろそかになりがちな部分です。この機会に、もう一度記帳のルール等を確認しておきましょう。問2や問3の勘定作成問題は、資料3⑥のその他有価証券の処理以外はオーソドックスな内容でした。

全体的に標準的なレベルの問題でした。

〔会計学〕

第1問は正誤問題、第2問は収益の認識に関する問題、第3問はキャッシュ・フローに関する問題が出題されました。

第1問は、5問(1, 6, 7, 8, 9)が過去問題の焼き直し問題でした。各問題ともに標準的ですので、8問以上の正解を目指してください。

第2問については、収益の認識に関する問題です。問1～3については、できるだけ全て正解して頂きたいところです。問4については、最低限、収益の認識タイミングについては触れておきたいところです。

第3問は、キャッシュ・フロー計算書に関する問題でした。今までのように、誘導法による作成が問われているわけではなく、直接法によるキャッシュ・フロー計算書に計上される金額を計算させ、その結果をもとにX社の問題点を提起するという問題構成となっています。問1～3の計算問題については、基本レベルですので、全問正解を目指してください。問4は、営業収入と売上債権の関係に気がつけるかがポイントとなります。

全体的に標準的なレベルの問題でした。

**第 35 回（第 153 回）全経簿記検定試験 予想結果と講評**  
**工業簿記・原価計算**

科 目	第 1 予 想	第 2 予 想	第 3 予 想
工業簿記	総合原価計算 的中！	部門別個別原価計算	本社工場会計
原価計算	業務執行的意思決定 的中！	CVP分析 的中！	戦略的原価計算

**講評**

〔工業簿記〕

問題 1 は、工程別組別総合原価計算からの出題でした。とはいえ、資料をよく読むと分かるように、A 製品のみについて見ていけばいいことに気がつけば、解答時間もそれほどかからなかったのではないのでしょうか。問 2、3 についてはテキストの例題レベルですので、指示の読み落としの内容に注意して解答していけば正解にたどり着くことができると思います。問 2 (2) の仕訳問題については、流れを理解する上でも重要な部分です。問 1 の集計手順の説明については、自分の言葉で説明できるようにして下さい。

問題 2 は、正常仕損費の按分方法について説明できているかどうか採点する上でのポイントになるものと思われます。計算では分かっている方も、言葉で表現できない方が多いと思いますので、問 1 でも触れましたが、自分の言葉で説明できるようにしておきましょう。

全体的には、計算問題は基本レベル、記述問題については標準的なレベルと言えるでしょう。

〔原価計算〕

今回は、複数製品の CVP 分析、セグメント別分析、最適プロダクト・ミックスの問題が出題されました。問題 2 の問 2 以外は、テキストの例題レベルの問題であると言えるでしょう。

問題 1 は、複数製品の CVP 分析です。問題文の読み落としに注意すれば、容易に解答にたどり着けます。

問題 2 は、公式テキストに単独の論点として掲載されています。問 1 は直接原価計算ベースである貢献利益法で分析すべきという点が指摘できれば部分点がもらえると思います。問 2 は公式テキストを確認しておきましょう。

問題 3 は、最適プロダクト・ミックスの問題でした。複数の制約条件が与えられた場合の最適生産量は、リニア・プログラミング（線形計画法・LP）で解答を導くこととなります。基本的な問題ですので、正解にたどり着けるようにしておきましょう。